

# 協会ニュース



Food Labo 菜果の地域連携と商品開発

2022

## 「コーヒーかすを利用した堆肥づくり」

就労支援 A 型事業所として地域連携、農福連携は取り組むべき課題になっているが、菜果では地域の農家と農作物の取引くらいしかできていなかった。ある時、たまたま「コーヒーかすを堆肥にする試み」をしている方と話しをする機会があり、これも「地域連携、農福連携」の一つの形になるのではないかと思った。

このお話を聞かせてくださったのはお二人の方である。

### ①間船さん（会津美里町）

14代続く農家の若き跡取り。米や菊の出荷が主で、野菜も少量多品目で作っており、自分の畑の堆肥づくりのために、以前からコーヒーかすを実験的に取り入れ、野菜作りに役立っている。

### ②穂積さん（会津若松市東栄町 Lover's Coffee ラバーズコーヒー）

約10年間想い続けた自家焙煎コーヒー豆販売専門道を2016年12月に開業。

自店での廃棄物（コーヒーかすなど）の多さに違和感を感じていたところ、間船さんから声をかけられ、コーヒーかすを提供することになった。

まず、コーヒーかすを堆肥にするとはどういうことなのか…。

コーヒー豆には「多孔質」という性質があるため、空気や水分が適度に土に入り込み、根が張りやすい。工業的な肥料だけの場合、突発的な力はあっても持続力がないらしい。そこにコーヒー豆などの自然肥料を加えることで、緩やかで持続的な効果を得られ、作物の生育、収穫期間にメリットが生まれるというのだ。さらに追肥や消毒をすることは、コストや手間、リスクが増えることになるが、土の栄養のバランスが格段に良くなることで、それらが減るといった効果もあるという。

では、コーヒーかすをどうやって堆肥にするのか…。

コーヒーかす、もみ殻、米糠などを混ぜ、畑の土、イースト菌、乳酸菌、納豆菌などを使って約3ヵ月ほどの期間発酵させるということで、この発酵させる作業が結構な手間がかかるらしい。

今回、菜果では、この「手間」を担うことで「地域連携、農福連携」が可能になるのではないかといい、協力を申し出た。

穂積さんが自店と各家庭から出たコーヒーかすを回収する窓口になり、間船さんが専門的理論技術指導ともみ殻などの材料提供を行い、菜果が発酵作業などを行う。この3者の連携によって現在この試みは進んでおり、近く試作品が完成する。うまく会津のSDGsにも貢献できる商品化ができればよいと思っている。（事務局）





### ジョイ3

毎週楽しみにしているイベントの日『金曜日』  
今日は、ドマーニ（山鹿クリニック1Fの喫茶店？）でのカフェタイム♪♪♪  
自分の好きなメニューを選び、ゆったりとした時間を過ごします。  
“普段行かない場所」「いつもと違う空間」で時間を過ごすことも大切だな”と感じています。



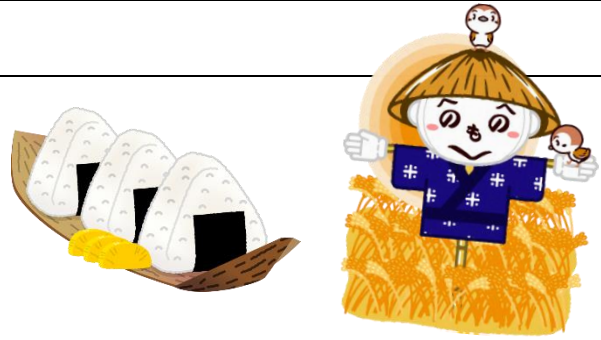
### 弥七農園だより

今年もおいしいトマトが実りました。  
毎週お手伝いにかがっているMさんは、最盛期に大きなトマトをいただいてきて、「冷やして食べんだ!!」と溢れるくらいの笑みを浮かべて話していました。  
盛夏が終わり、今回はトマトの手くれ（支え）の後片付けです。  
3名で約200個以上のフックをとる作業しました。  
これからも、落花生の収穫、秋野菜の種まき、植え付け、そして草むしりと…  
毎回、いろいろな仕事があり、農作業は奥が深いですね。



## 活動報告 その二

### エンジョイ通信より



### 🏠 おにぎりパーティー 🏠

『お腹いっぱい食べたい…』との希望で、『食べ放題のおにぎりパーティー』を開催しました。

他におでん、みそ汁、キュウリの漬物・つくだに（ジョイの庭で栽培）もありました。

一番人気は、のりたま味のおにぎりで最大5コ食べた方もいました。

やってきました…『食欲の秋』到来にスタッフもビックリ!! みなさんの笑顔と大満足の様子にスタッフのお腹も満たされました。(笑)



3ピース!!



今日の昼食  
チョコ〜ラッキー♡

### 🎤 からおけ カラオケ 🎤

カラオケ好きのメンバーさんが揃う【火曜・木曜】みんなでマイクカラオケを楽しんでいます。それぞれの持ち歌があり、合いの手を入れたり、歌手以上の音量でハモリを入れたりして楽しんでいます。いつの日か美声披露の『のど自慢大会』をやりたいと考えています。



オレの方が、  
○○○!!



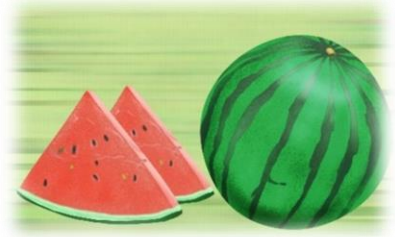
“東京めぐりあい”  
♪ 東京 東京  
ふれ愛めぐり愛 ♪



“ロード”  
♪ 冬も終わりに近づき ♪

## ひとコマ

むつみ寮では以前から有志でイベントを開催しています。月1回のミーティングの際に提案があれば、みんなで検討し計画を立てます。スタッフはあくまで見守りで、利用者さん主体で行っています。8月にもある利用者さんの提案で『スイカを食べる会』が開催されました。



いつもは大体イベント好きな方2名が企画立案者になるのですが、今回はいつもと違うSさんが提案をしました。急なことで皆さん少しびっくりされているようでしたが、計画を立て無事開催することができました。

イベント後なぜ提案したのか尋ねてみると…

Sさん：「最近昔からいる人が退所して、新しい人が入ってきた。でもイベントに参加する人は少なくなってしまったでしょ。いつもは受け身だったけど、楽しかったんだよ！だからいつものふたりに任せきりじゃなくて自分でも発信しないといけないと思って今回提案してみたんだ。みんなに手伝えてもらって無事できてよかった。楽しかったです！」



イベント好きな2名にも今回の感想を聞いてみました。

Hさん：「Sさんが提案してくれてよかったと思うよ。やっぱり俺たちだけじゃなあ。他にも楽しむことが大事とってくれている人がいてよかった！」

Oさん：「いつも俺たちばかりだったから、ちょっと他の人もやってよと思ったこともあった。今回Sさんが主としてやってくれてうれしかったです！」

以前はHさんの『みんなで楽しみたい』という気持ちが強すぎて『職員が全員参加させるのが普通だ！』などとなってしまう、スタッフも悩んだ時期もありました。しかし、Hさん、Oさんの『みんなで過ごす時間も大事！』という考えは、しっかり他の利用者の方にも伝わっていたようです。もちろん参加しない方もいますが、今では『参加しない人がいること』を受け入れられているようです。Sさんの意外な一面とHさん、Oさんの想いが皆さんにも伝わっていたことが感じられた、今回のひとこまでした！

## 編集後記

前号では、協会ニュースの発行の仕方について、混乱してしまうような文章をお出ししてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後このようなことが無いように気をつけて協会ニュースの編集に当たりますのでどうぞよろしく願いいたします。

寒くなってきましたので、皆様お体ご自愛下さい。

